



LaKeel



Business Report Vol.2

2022.1.1 ▶ 2022.12.31

株式会社ラキール 証券コード:4074

『真のDXパートナー』を目指して

企業向けシステムの課題である「技術的負債」を解消するため

LaKeel DXでサステナブルソフトウェアというテーマに挑戦

ソフトウェアを部品化、最新化し「技術的資産」に転換

DX投資の世界に革新をもたらす



平素より格別のご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

当社は、クラウド型デジタルビジネスプラットフォーム「LaKeel DX」で、デジタルとビジネスのより良い関係づくりを実現し、「明日の日常を創り出す」ことを目指しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも、より一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 久保 努

『企業のIT投資効率の最大化』を目指して

買ったときは高かった車も、乗っているうちに壊れ、いずれ買い替えるときが来ます。

大企業が使っているITシステムもこれと同じということをご存知でしょうか。

何年も、何億円も投じて開発した自社システムが10年足らずで技術的負債となり、会社はまた何億円もかけて新しいシステムを開発する。これが現実です。

私は、IT業界で経験を積むうちにこの事実違和感を覚え、もっと良い方法はないかと考えるようになりました。

そして、企業のシステムを「再利用可能な部品」で作り、都度必要な部品へ置き換えることができれば、いつまでも利用できるシステムになるのではないかと思うようになりました。

それから20年、“部品化されたソフトウェアを組み立ててシステムを作る”ことを模索してまいりました。その間、多くの人が様々な方法でソフトウェアの部品化を試みてきましたが、技術的な難易度が高く、どれも上手くいきませんでした。しかし、昨今「クラウド」が急速に普及し、「マイクロサービスアーキテクチャー」が大企業向けシステム開発技術として改めて注目を集め、実用可能なレベル

にまで発展しました。この2つは、ソフトウェアの部品化に極めて重要な要素だったので。

機は熟したと感じた私は、それまでシステムインテグレーターだったこの会社を製品サービスベンダーにしようと決意し、2019年に「LaKeel DX」の初版をリリースしました。

これにより、本製品をご採用いただいた企業様は、新規のシステム開発、あるいはその後の機能拡張の際の期間とコストを大幅に短縮、それに伴う圧倒的な柔軟性を手に入れることができるようになったと思います。さらに我々は、「LaKeel DX」というプラットフォームを介して、「ソフトウェア部品を流通」させることも想定しており、ソフトウェアという視点から、顧客企業様に「新たなビジネスを創出する機会」を提供いたします。

このように「LaKeel DX」は、これまでの大企業向けシステム構築のあり方にパラダイムシフトを起こす、他に類をみない製品です。

我々ラキールは、「LaKeel DX」を武器に、これからも企業のIT投資の価値を最大限に高める提案をし続けてまいります。

LaKeel DXでサステナブルソフトウェアを実現

LaKeel DXとは？

「大企業向けシステムの開発／運用基盤(プラットフォーム)」です。LaKeel DX上で開発される企業向けシステムは、一つの巨大なシステムに見えますが、実はたくさんの部品が組み合わされてできています。

これらの部品は、それぞれ「再利用できる」「常に最新の状態に保たれる」という特徴を持っています。



部品の再利用がもたらす、驚異の開発スピード

自動車のエンジンは約1万点の部品からできていると言われていますが、同時に自動車を構成する部品でもあります。LaKeel DX上で管理される部品もこれと同様、極めて小さな処理のみを行う部品から、これらをたくさん集めて「人事」「分析」とい

た業務に使えるものまであります。顧客企業は、新たなシステムを開発するにあたり、既存の部品を何度でも、どのような規模でも再利用することができるので、新規開発にかかる期間とコストを大幅に縮小することができます。

LaKeel DXが提供する圧倒的な柔軟性

これまでの企業システムは、運用・保守・機能拡張等、使い始めてからも膨大なコストがかかり続けていましたが、LaKeel DXを使用することで、通常の運用はほとんど自動化され、保守や拡張は「部品を交換」するだけで、いつでも、すぐに行う

ことができるようになります。LaKeel DX上で構築・運用されているシステムが持つ圧倒的な柔軟性は、顧客企業をシステムの刷新から解放し、「サステナブル(いつまでも使い続けられる)ソフトウェア」を提供します。



2022年12月期 売上高、各利益共に 過去最高を更新

■ 業績のポイント

● プロダクトサービスが順調に伸長し増収増益で着地

プロダクトサービス売上が前年比、**35.3%増**

プロダクトサービス売上比率が**58.1%**へ(昨年実績50.7%)

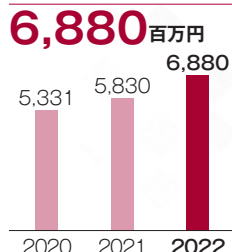
サブスク(LaKeel製品)売上が前年比、**29.6%増**

サブスクユーザー数が前期末比、**13.0%増**

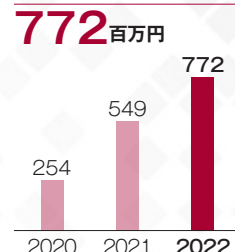
● 新製品、新機能のリリース

LaKeel HR：人材管理、就労管理

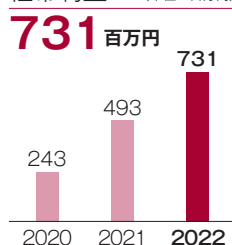
売上高 (単位：百万円)



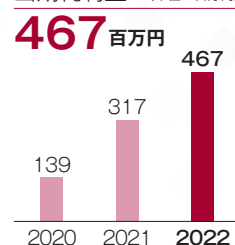
営業利益 (単位：百万円)



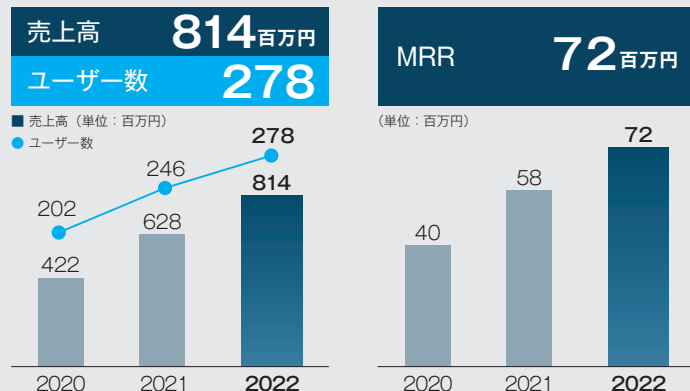
経常利益 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する
当期純利益 (単位：百万円)



■ LaKeel製品サブスクリプション



※ LaKeel製品には、DX、BI、HR、Workflow、Commerce、Online Media Service、Data Insight、Messenger、My Number、Stress Check、Process Managerが含まれます。

※ 売上高は各期の年間の合計、ユーザー数は各期末時点での数値です。

※ MRR(月間経常収益)は各期四半期売上高を3で割って算出しています。

■ 2023年業績予想



ラキール、楽天保険グループ様のデータマーケティングをサポート ～「LaKeel DX」を含むラキールの3製品を提供～

楽天保険グループ様の取り組み

楽天保険グループ様は、お客様サービスの質の向上を実現するため、様々なデータを活用したマーケティングを推進しています。また、保険募集代理店の提案品質向上にもデータを利用するなど、保険ビジネスのあらゆる面においてデータの活用に取り組んでいます。

Rakuten Rakuten Rakuten
楽天生命 楽天損保 保険の総合窓口



当社の取り組み

今回、ラキールは、当社のデジタルビジネスプラットフォーム「LaKeel DX」、データ統合プラットフォーム「LaKeel Data Insight」とデータ分析・可視化プラットフォームの「LaKeel BI」を提供することで、楽天保険グループ様のデータマーケティングの推進をサポートしてまいります。



「LaKeel DX」「LaKeel Data Insight」「LaKeel BI」について

- **LaKeel DX**の最大の特長は、「マイクロサービス技術」を活用し、全てのソフトウェアを部品として開発を行い、ブロックを組み合わせるように、自社の業務に適合したアプリケーションを早期に構築することができます。これらのソフトウェア部品は常に最新に保たれており、いつでも再利用可能な状態で「技術的資産」として蓄積しています。そのため、既存ビジネスの改革や新ビジネスの要求に対し、ソフトウェア部品を組み替えたり、追加することで迅速かつ柔軟に対応することができます。ラキールは、この技術で特許を取得し、システム開発の大きな技術的変革を実現します。ITの「技術的負債」を「技術的資産」に変え、「サステナブルソフトウェア」という新しい「アプリケーション開発」の方向性を提案しています。
- **LaKeel Data Insight**はデータ統合プラットフォームです。

インターネット上などに存在するビッグデータと企業に散在するデータを統合・加工・カタログ化することにより、様々な階層でのデータ活用を促進する他、LaKeel DX上で開発したアプリケーションと LaKeel Data Insight を連携させることで、データから導き出される洞察（インサイト）をユーザーに速やかに提供できます。

- **LaKeel BI**はデータ分析・可視化プラットフォームです。お客様の実業務に基づいた豊富なテンプレートと充実したサポートメニューで、データ分析の効率化と分析結果をわかりやすく可視化します。これらラキール製品を複合してご利用いただくことで、ビジネスのアイデアを迅速に実現し、データを見ながら柔軟に改善していくことができ、データドリブン経営に貢献します。



2022年10月よりラキール公式YouTubeチャンネルにて 経営者の対談企画「My Voyage (マイ ボヤージュ)」を配信開始!

「My Voyage (マイ ボヤージュ)」は、
企業の経営者をお招きし、ビジネスという航海を
どのように舵取りしているのか経営手法を伺う対談企画。

第1回テーマ

「DX時代に経営トップが仕掛ける変革とは」

第1回のゲストは、保険ビジネスのDXに取り組む楽天損害保険株式会社 代表取締役社長 橋谷 有造氏をお招きし、対談を行いました。ペーパーレス化やデータ分析による今後の保険ビジネスのビジョンをお話しいただきました。



ラキール公式YoutubeチャンネルURL

<https://www.youtube.com/@lakeel>



会社概要と株式の状況

会社の概要 (2022年12月31日現在)

社名	株式会社ラキール
設立	2005年6月10日
資本金	1,014百万円
事業内容	企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援するプロダクトサービスとプロフェッショナルサービスを提供
従業員数	連結：413名
所在地	〒105-6233 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー33階
主要関係会社	Legend Applications China Holding, Inc. 北京利衆得応用技術有限公司 株式会社ZEST

株式の状況 (2022年12月31日現在)

発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	7,628,500株
株主数	2,161名

大株主 (上位10社/名)

株主名	保有株数(株)	保有比率(%)
久保 努	3,400,000	44.57
KST有限責任事業組合	680,000	8.91
ラキール従業員持株会	334,224	4.38
平間 恒浩	300,500	3.93
株式会社Kコーポレーション	245,600	3.21
住友生命保険相互会社	140,000	1.83
川上 嘉章	129,300	1.69
西村 浩	125,000	1.63
雄谷 淳	115,400	1.51
OKASAN INTERNATIONAL(ASIA)LIMITED A/C CLIENT	100,000	1.31

(注) 持株比率は自己株式(81株)を控除し、計算しております。